

# 2022年3月期決算 及び中期経営計画

2022年6月6日

大崎電気工業株式会社  
代表取締役社長 渡辺光康

## 1. 2022年3月期 実績：売上高761億円、営業利益12億円

	国内	海外	連結
前期比	<b>減収減益</b> スマートメーター、スマートロック減収 原材料費高騰による原価上昇	<b>増収増益</b> オセアニア・欧州向け出荷増	売上 (△0.7億円) 利益 (△14億円)
年初 計画比	<b>売上、営業利益共に未達</b> 部材調達難、原材料費高騰	<b>売上、営業利益共に未達</b> 部材調達難、原材料費高騰等	売上 (△68億円) 利益 (△22億円)

## 2. 2023年3月期 計画：売上高800億円、営業利益10億円

	国内	海外	連結
前期比	<b>増収増益</b> スマートメーター、ソリューション増収 原材料費高騰により増益幅は限定的	<b>減収減益</b> 部材調達難で英国向け出荷減 原材料費・輸送費高騰等	売上 (+38億円) 利益 (△3億円)

## 3. 中期経営計画（2023-27年3月期）

- ・ スマートメーターを中核としつつ、ソリューションシステム・サービスの拡大により  
**安定的な収益基盤を構築するとともに、社会の脱炭素化へ貢献し持続的な成長を目指す。**

# Agenda

- 1. 2022年3月期 決算概要**
- 2. 2023年3月期 業績予想**
- 3. 中期経営計画（2023-27年3月期）**
- 4. 株主還元策**

# 1. 2022年3月期 決算概要

1-1 損益計算書

1-2 貸借対照表

1-3 キャッシュフロー計算書

# 1-1 損益計算書

## 前期比

- **売上高**：海外は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた前期比で増収となるも、国内はスマートメーターやスマートロックの減収により前期並み
- **営業利益**：海外は増収により増益も、国内の減収や原材料費の高騰により減益

## 年初計画比

- **売上高**：国内外の世界的な電子部材の調達難の影響により未達
- **営業利益**：売上未達に加えて、原材料費の高騰により未達

(百万円)

	21/3期 実績	22/3期 年初計画	22/3期 実績	前期比	年初計画比
売上高(外部売上)	76,255	83,000	76,184	-71	-6,815
国内計測制御事業	48,169	49,700	45,983	-2,185	-3,716
海外計測制御事業	26,678	32,000	29,095	2,416	-2,904
その他	1,408	1,300	1,105	-302	-194
営業利益	2,684	3,500	1,277	-1,407	-2,222
国内計測制御事業	3,136	2,500	1,225	-1,910	-1,274
海外計測制御事業	-467	1,000	58	525	-941
その他	6	0	-11	-17	-11
調整額	9	-	4	-5	4
経常利益	2,888	3,300	1,189	-1,698	-2,110
親会社株主に帰属する 当期純利益	482	3,000	-658	-1,140	-3,658

\*「その他」は製造装置事業、不動産事業

# 1-2 貸借対照表

- 売掛債権の減少：海外における売掛金の回収
- 棚卸資産の増加：円安による海外の増加
- 自己資本の減少：株主還元策（配当金支払い・自己株式取得）の実施

(百万円)

	21/3期末	22/3期末	増減	主な増減理由
資産合計	90,989	91,222	+233	売掛債権 -450 棚卸資産 +450
流動資産	53,090	51,653	-1,436	
固定資産	37,898	39,568	+1,669	
負債合計	32,101	33,610	+1,509	
流動負債	18,962	26,502	+7,540	
固定負債	13,139	7,108	-6,030	
純資産合計	58,887	57,611	-1,276	
自己資本	46,614	45,236	-1,377	
非支配株主持分	11,764	11,865	+101	
その他	509	509	-	
自己資本比率	51.2%	49.6%	-1.6%	

# 1-3 キャッシュフロー計算書

- 厳しい事業環境下においても、営業キャッシュフロー44億円、フリーキャッシュフロー32億円を計上

(百万円)

	22/3期 実績
税金等調整前当期純利益	1,114
売上債権の増減額 (△は増加)	1,240
棚卸資産の増減額 (△は増加)	353
仕入債務の増減額 (△は減少)	36
その他 (減価償却費 他)	1,679
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,422
投資活動によるキャッシュ・フロー	-1,219
長短借入金の純増減額 (△は減少)	-568
配当金の支払額	-1,639
その他	-725
財務活動によるキャッシュ・フロー	-2,934
現金及び現金同等物に係る換算差額	411
現金及び現金同等物の期首残高	14,654
現金及び現金同等物の期末残高	15,335

## 2. 2023年3月期 業績予想

---



## 2. 2023年3月期 業績予想

- **国内**：電子部材の調達難の影響を受けたスマートメーターや、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた**エネルギーマネジメント関連製品・サービス**の売上の拡大により**増収**。利益面では、原材料価格の高騰により**増益幅は限定的**
- **海外**：**オセアニアは安定成長**の一方で、**英国向けの出荷が電子部材の調達難のため減収**。利益面では、減収に加えて電子部材を中心とした**原材料価格や輸送費の高騰リスクを織り込み減益**。

(百万円)

	22/3期 2 Q実績	23/3期 2 Q計画	前年 同期比	22/3期 通期実績	23/3期 通期計画	前期比
売上高(外部売上)	36,087	39,000	2,912	76,184	80,000	3,815
国内計測制御事業	21,393	23,500	2,106	45,983	50,000	4,016
海外計測制御事業	14,149	14,500	350	29,095	28,000	-1,095
その他	544	1,000	455	1,105	2,000	894
営業利益	461	-200	-661	1,277	1,000	-277
国内計測制御事業	366	100	-266	1,225	1,500	274
海外計測制御事業	118	-400	-518	58	-700	-758
その他	-23	100	123	-11	200	211
調整額	-0	-	0	4	-	-4
経常利益	531	-150	-681	1,189	1,100	-89
親会社株主に帰属 する当期純利益	-236	1,300	1,536	-658	1,500	2,158

\*「その他」は製造装置事業、不動産事業

## **3.中期経営計画（2023-27年3月期）**

**3-1 中期経営計画の計数目標**

**3-2 国内事業の展開**

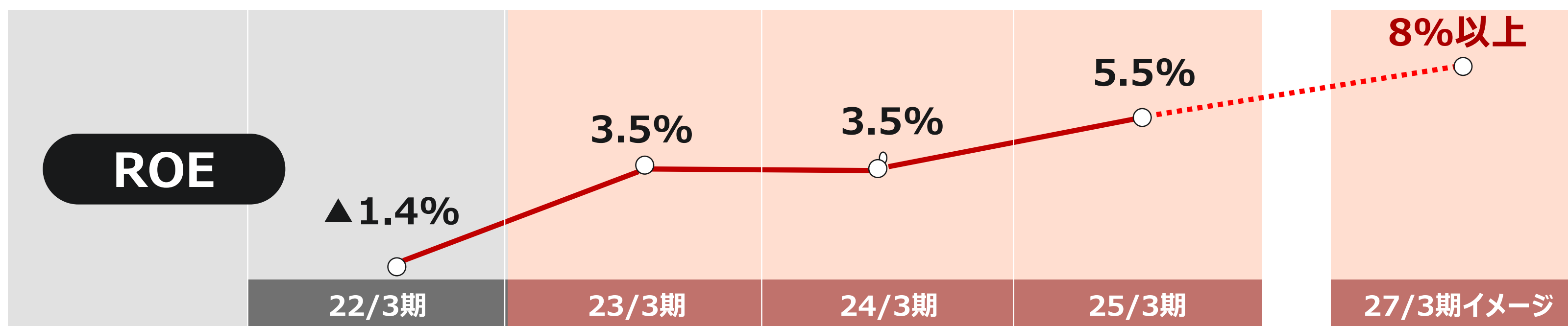
**3-3 海外事業の展開**

**3-4 グループ経営基盤の強化**

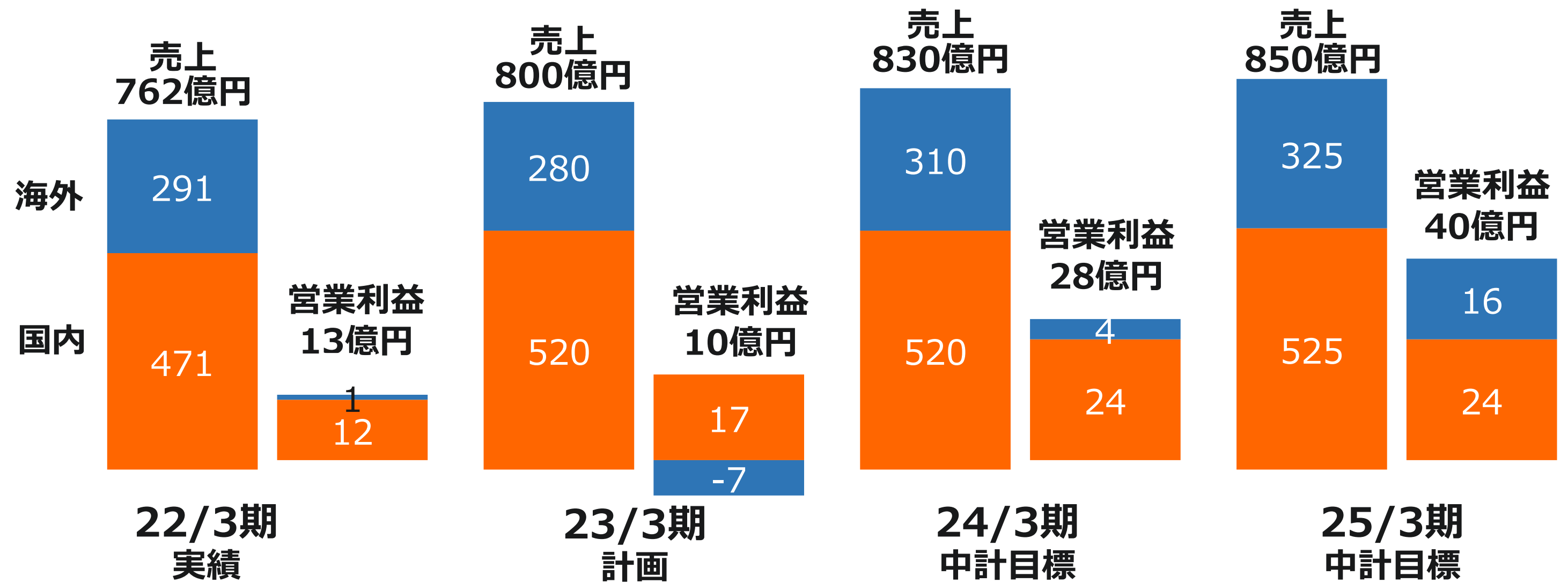
# 3-1-1 中期経営計画の計数目標

(億円)

	22/3期 実績	23/3期 計画	24/3期 中計目標	25/3期 中計目標	27/3期 イメージ
売上高	762	800	830	850	—
営業利益	13	10	28	40	—
営業利益率	1.7%	1.3%	3.4%	4.7%	—
経常利益	12	11	29	41	—
当期純利益	▲6.6	15	16	26	—
純利益率	-	1.9%	1.9%	3.1%	—
ROE	▲1.4%	3.5%	3.5%	5.5%	8%以上
設備投資額	28	26	30	40	—
減価償却費	25	25	26	28	—
研究開発費	30	33	35	35	—



# 3-1-2 中期経営計画：国内外別目標



	22/3期実績	23/3期計画	24/3期中計目標	25/3期中計目標
海外売上比率	38%	35%	37%	38%
海外営業利益比率	5%	-0%	14%	40%

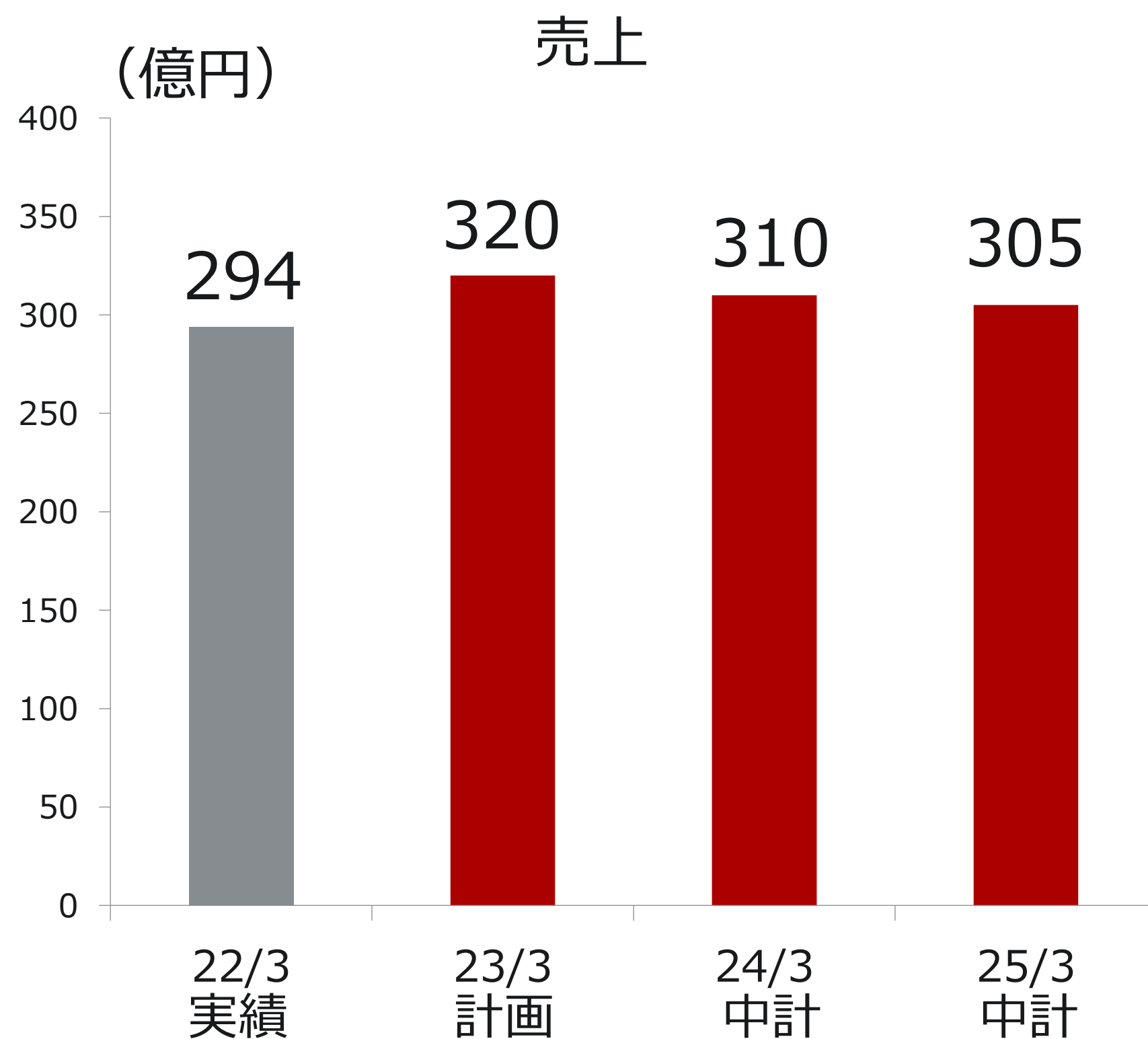
### 3-1-3 中期経営計画：事業ポートフォリオ別売上

#### 事業ポートフォリオ別売上

億円

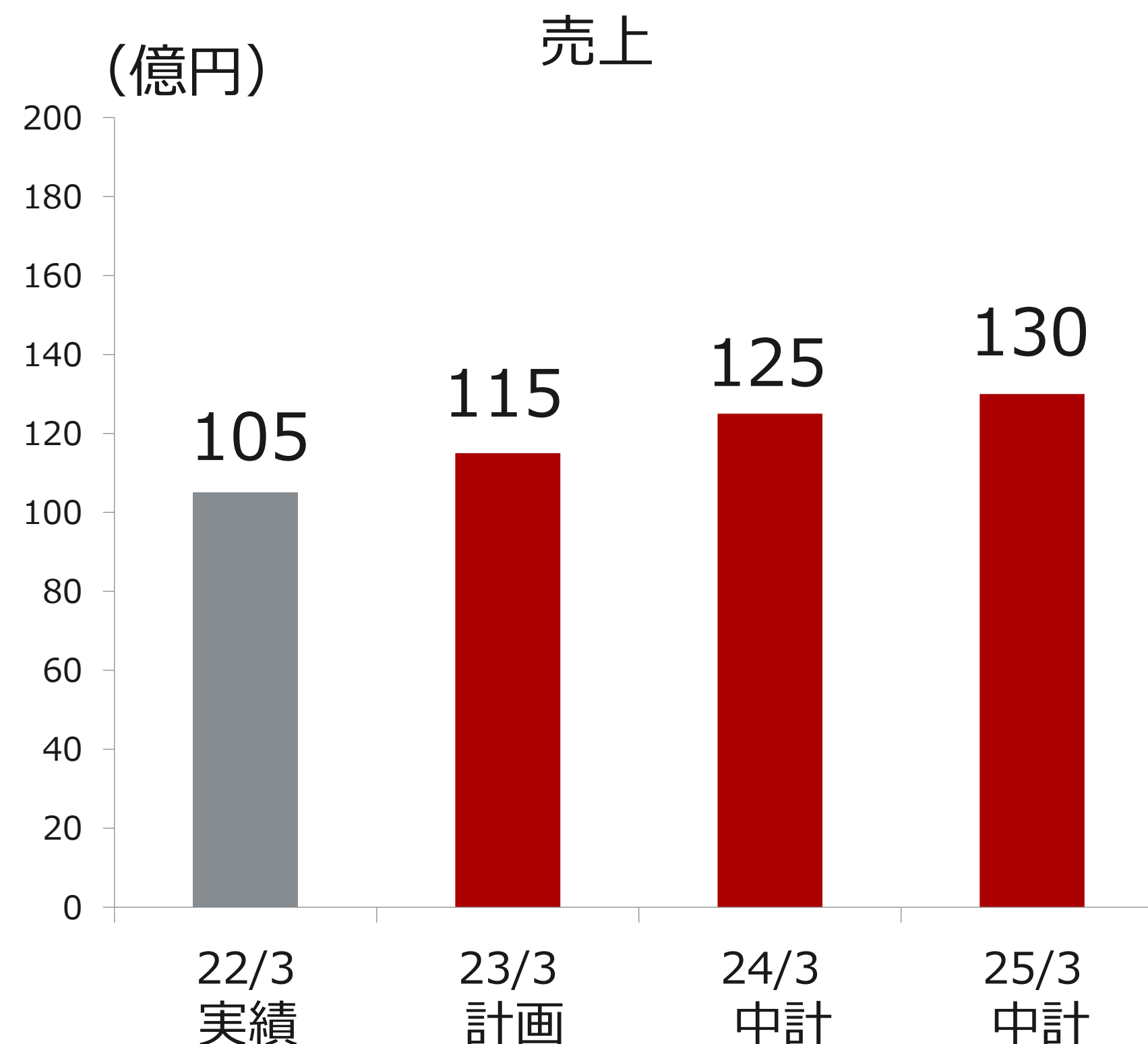
	22/3期実績	23/3期計画	24/3期中計目標	25/3期中計目標
国内計測制御事業	460	500	500	505
スマートメーター事業	294	320	310	305
ソリューション事業	105	115	125	130
配電盤事業	60	65	65	70
海外計測制御事業	291	280	310	325
オセアニア	106	120	135	150
欧州	113	100	115	115
アジア	60	42	35	30
中東他	11	18	25	30
その他事業（国内）	11	20	20	20

## スマートメーター事業



- 22/3：部材不足の影響により減収
- 23/3：前期比の反動増
- 中計：次世代スマートメーターの開発・生産に向け、体制強化

## ソリューション事業



- 22/3：コロナ影響により顧客の投資意欲が低迷
- 23/3：エネルギー関連ソリューションを拡大
- 中計：脱炭素化ソリューションを中心に拡大

## 国内ソリューションビジネスとは

- スマートメーターの計測・制御技術を活かし、省エネや省人化といった社会的課題を解決するソリューションの提供

短・中期的な成長  
エネルギー関連ソリューションの拡大

中・長期的な成長  
GXソリューションの立ち上げと拡大

スマートメーター  
電力使用量を測る



エネルギーマネジメント  
システム

電力使用量を減らす

スマートメータリング  
システム

検針業務を減らす



G<sup>\*</sup>X  
ソリューション

GHG排出量/  
エネルギー消費  
を減らす

グリーン対応  
業務/コストを  
減らす

脱炭素化を支援

\* GX：グリーントランスフォーメーション

## ゼロボード、ESPと3社協業で、脱炭素化支援サービスを開始



### <特徴>

- 二酸化炭素排出量や消費エネルギーのデータの管理 (Scope1～3対応)
- データに基づいた省エネ・脱炭素コンサルティングサービス
- 環境関連の法改正や制度に関する情報提供

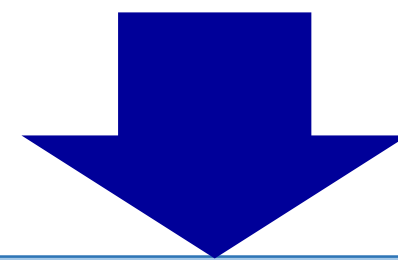


#### 事業環境

短期：電子部材調達難、及び部材調達価格・輸送費の高騰

中期：世界的な環境保全対策へ向けた動きの加速化

CO2排出量（＝電力使用量）の計測・制御へのニーズ  
⇒メーター及びソリューション（上位系システム）をセットで  
提供できることが重要



#### 当社グループの対応

メーター（ハードウェア）  
中心のビジネス

シフト

メーター&ソリューションの  
販売拡大

- ・ 顧客ニーズへの対応
- ・ 部材調達リスクの軽減

利益率の向上

## メーター & ソリューション展開地域拡大による利益率向上

英国  
メーター、通信ハブ  
⇒ハードウェア中心

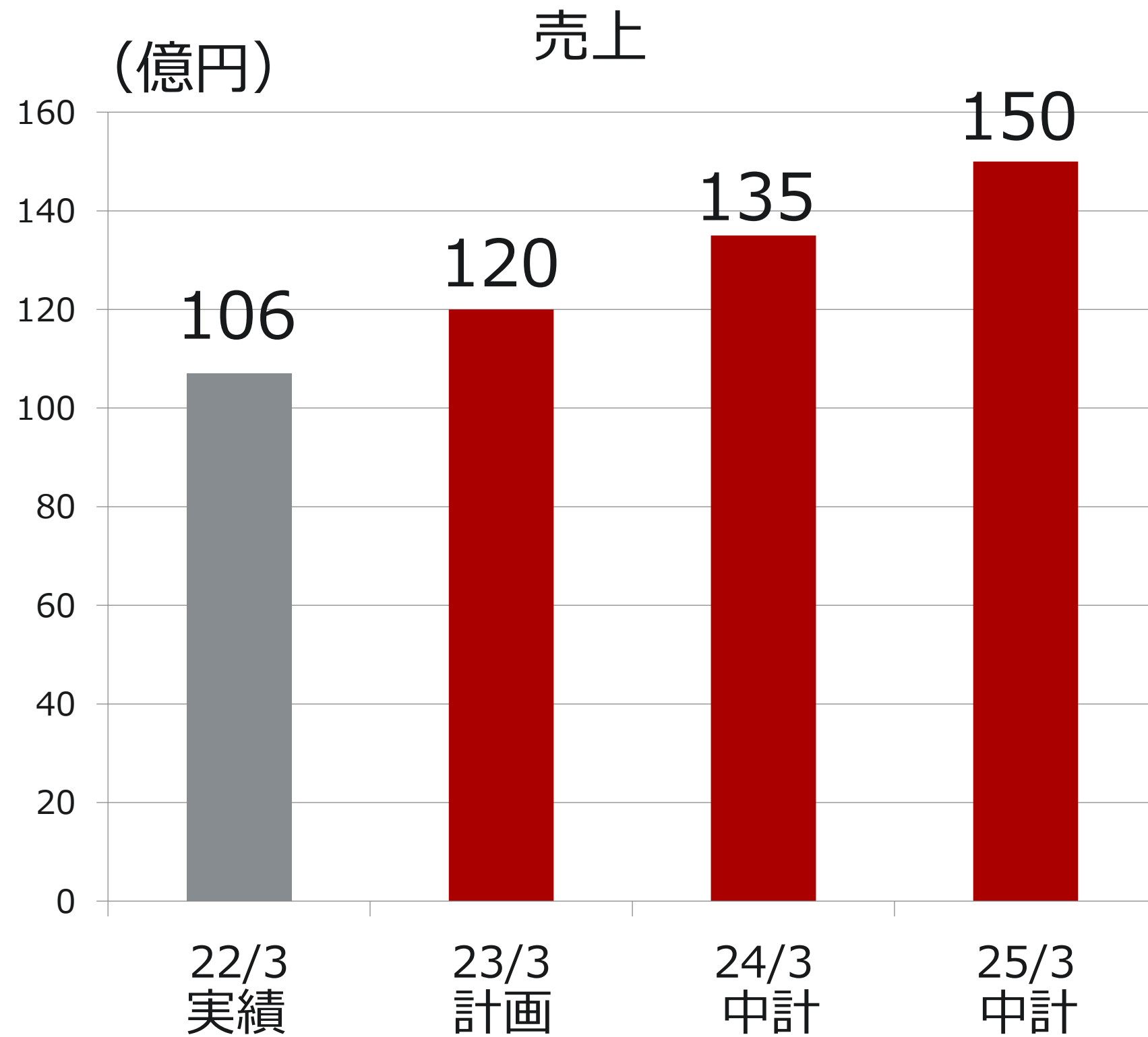
アジア、中東、アフリカ、欧州  
メーター & ソリューション  
へのシフトによる利益率向上

オセアニア  
メーター &  
ソリューション展開中  
⇒高い利益率

### 重点テーマ

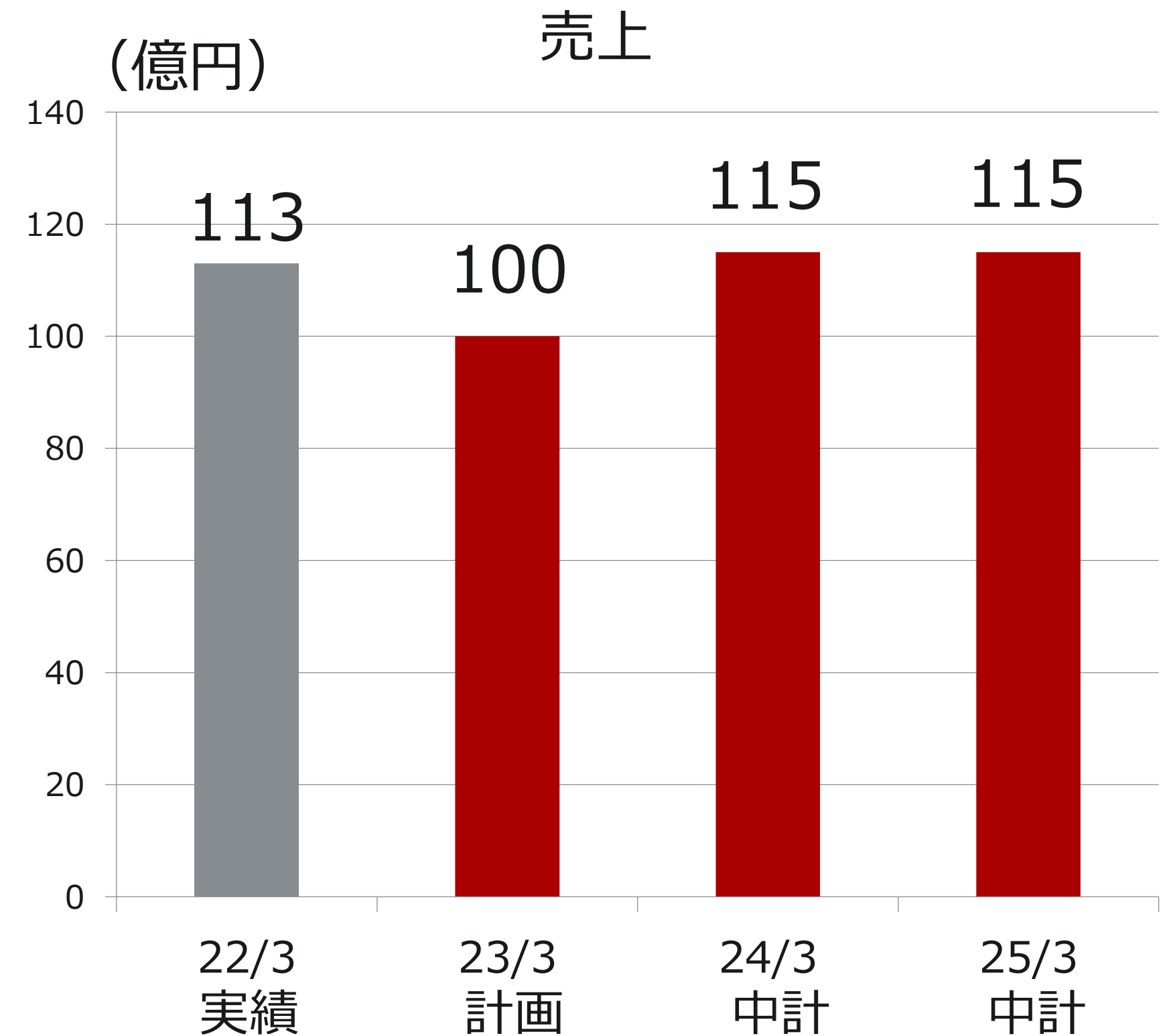
- ・新たなハードウェア・ソフトウェア開発の加速化
- ・BCP（事業継続計画）を含めたサプライチェーンの強化

## オセアニア市場



- 22/3：順調に業績拡大
- 23/3：安定成長を見込むが、調達・輸送費高騰抑制が課題
- 中計：高いシェア維持による安定的な成長

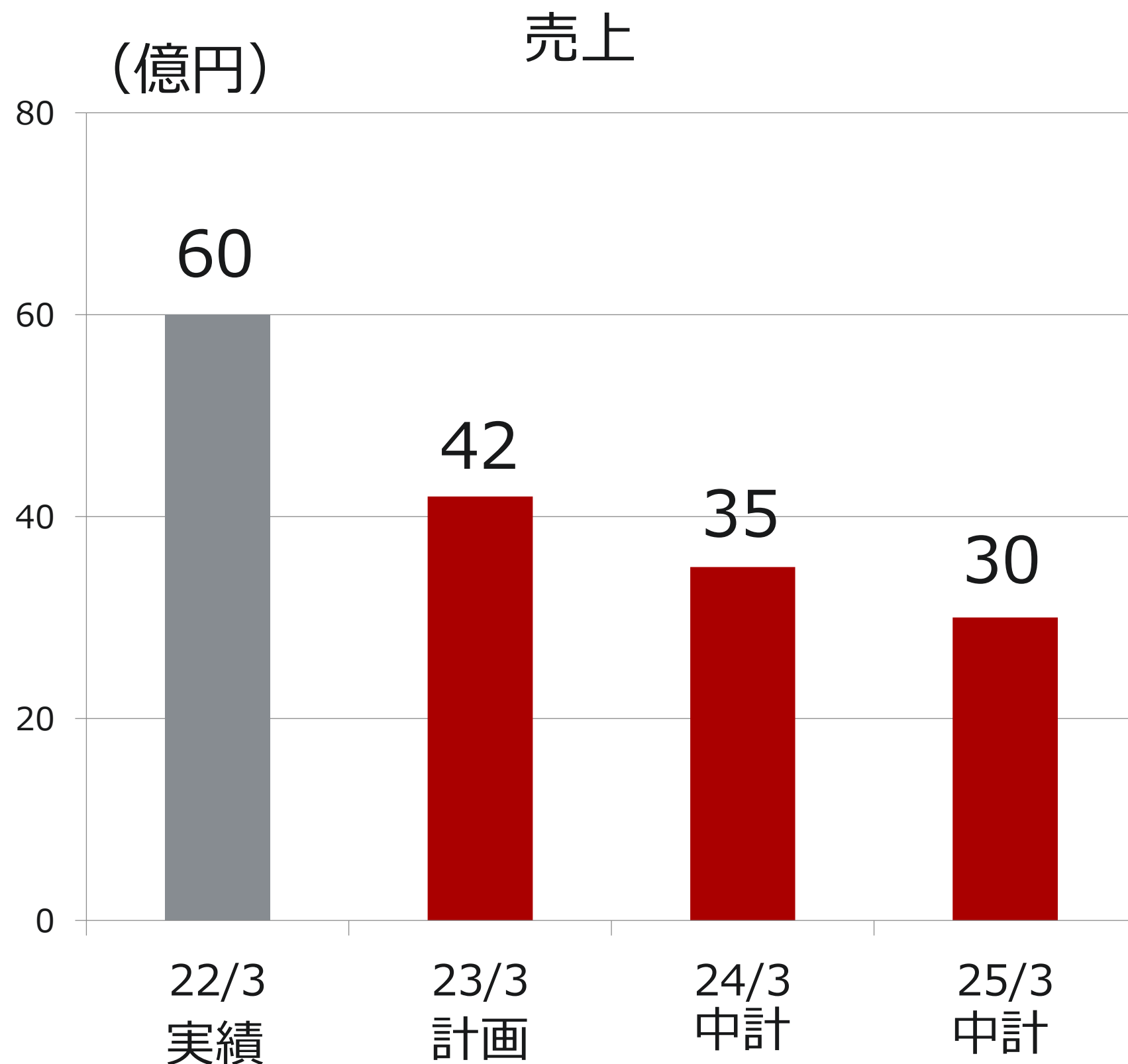
## 欧州市場（主に英国）



- 22/3：コロナ影響で低迷した前期比では増収
- 23/3：電子部材調達難により、減収計画
- 中計：供給可能な保守的な売上計画より高単価なハードウェア販売による利益率改善

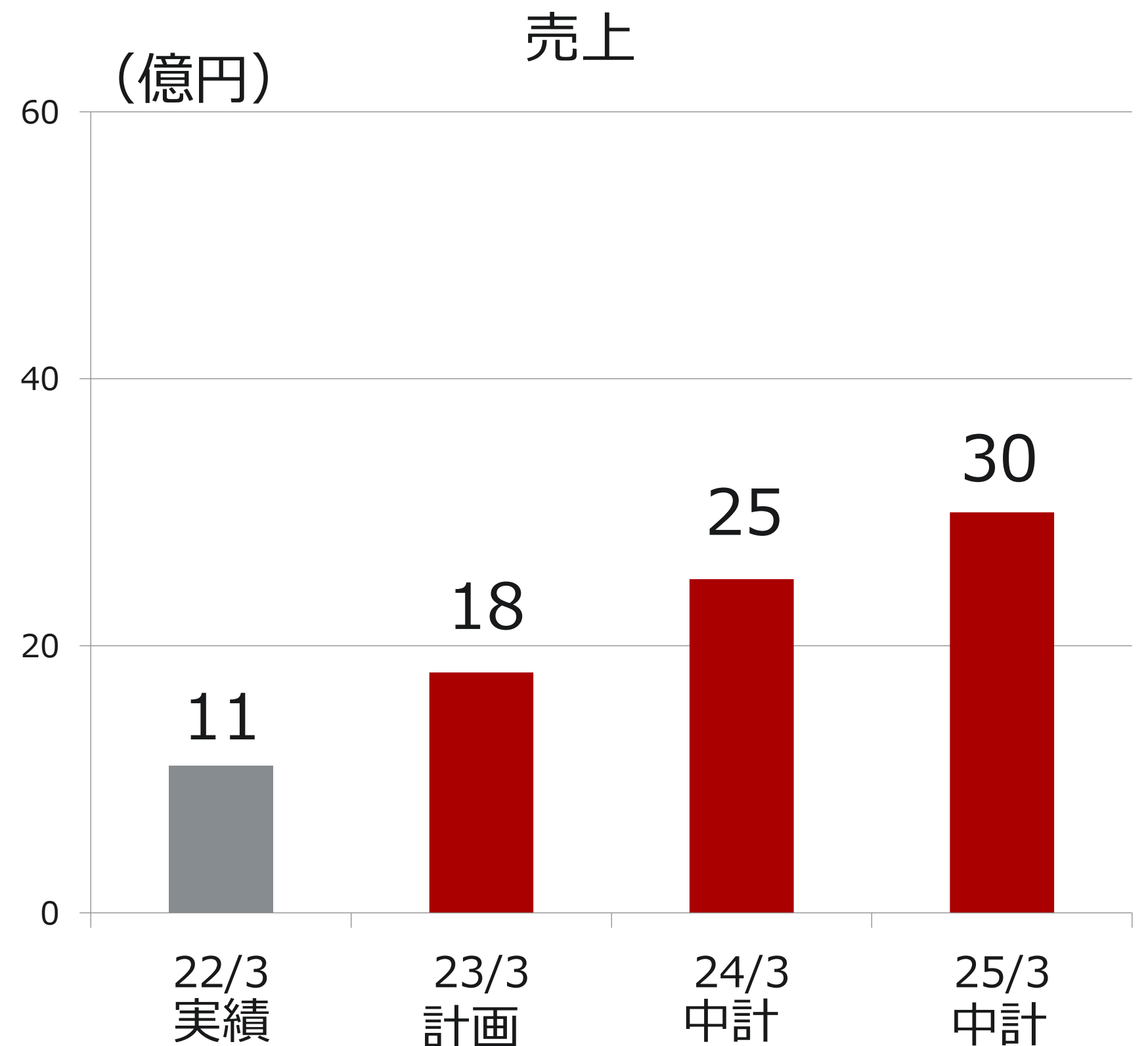
# 3-3-4 海外事業の展開（新興国）

## アジア



- 22/3：コロナ禍において入札や営業活動が停滞
- 23/3：子会社売却により減収
- 中計：選択と集中により売上は縮小も、ソリューション拡大による利益率向上

## 中東 他



- 22/3：部材調達難により売上低迷
- 23/3：部材調達難リスクを織り込んだ保守的な計画
- 中計：市場拡大の可能性が高いなか、ソリューション拡大により利益を重視した拡大を目指す

- 人材育成・活用の強化
- グループリスク管理の強化
- 財務体質の強化及び経営資源の最適な配分
- サステナビリティ活動の推進

## サステナビリティ推進委員会の設置

- 2022年4月、当社グループのサステナビリティへの対応を組織的に推し進めるため、委員会を設置
- 代表取締役社長を委員長とし、委員および事務局は委員長が選任したメンバーにより構成

## サステナビリティ基本方針とマテリアリティ目標

- サステナビリティ基本方針を策定し、マテリアリティ（重要課題）に対するグループの取り組みと、2030年の目標を設定

### 大崎電気グループのマテリアリティ

1. 環境負荷の低減
2. 持続可能なまちづくりへの貢献
3. 人権の尊重
4. 多様性を認め合う職場づくり、課題解決に貢献する人材の育成
5. ガバナンス体制の強化

詳細は下記URLを参照：

サステナビリティ基本方針：[https://www.osaki.co.jp/ja/sustainability/main/0/teaserItems1/0/link/22.04.01\\_sustainability%20policy.pdf](https://www.osaki.co.jp/ja/sustainability/main/0/teaserItems1/0/link/22.04.01_sustainability%20policy.pdf)

マテリアリティ目標：<https://www.osaki.co.jp/ja/sustainability/main/01/teaserItems1/0/link/Sustainability%20goalsJPN.pdf>

## TCFD宣言に基づく開示

- TCFDの提言へ賛同するとともに、2030 年を想定し、「ガバナンス」、「戦略」、「リスク管理体制」、「指標と目標」について分析した情報を開示

詳細はURLを参照：<https://www.osaki.co.jp/ja/sustainability/main/06/teaserItems1/00/linkList/02/link/TCFDkaiji.pdf>

## CDPスコアの取得

- 今年から、CDPの気候変動質問書へ回答し、スコア取得予定

### SDGs関連受賞

- トップ自らがSDGs活動に熱心に取り組み、脱炭素化社会の実現へ貢献する活動が評価され、2021年には2つの賞を受賞。

「IR優良企業賞2021」にて  
「共感！IR賞」に選定



日本IR協議会が毎年開催するIR優良企業賞にて、2021年の“共感！IR賞”を受賞。

『ソトコトSDGsアワード2021』を受賞



SDGsニュースサイト『ソトコトNEWS』が2021年より新設したSDGsアワードを受賞。



## 自己株式の取得

### 1. 自己株式取得の概要

- (1) 取得する株式の種類 当社普通株式
- (2) 取得する株式の総数 250万株（上限）  
（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 5.09%）
- (3) 株式の取得価額の総額 15億円（上限）
- (4) 取得期間 2022年2月2日～2023年2月1日
- (5) 取得方法 東京証券取引所における市場買付

### 2. 取得した自己株式の累計（2022年5月31日現在）

- (1) 取得した株式の総数 139万株
- (2) 株式の取得価額の総額 6.7億円



# Global Energy Solution Leader

エネルギー・ソリューションを通じて、世界に新たな価値を。

# 参考資料

---

## ■ 国内計測制御事業

（百万円）

	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期
スマートメーター事業	41,274	35,886	32,016	29,425
ソリューション事業	9,408	10,006	10,510	10,531
配電盤事業	5,568	5,926	5,641	6,025
合計	56,251	51,819	48,169	45,983

※管理会計上の参考値

## ■ 海外計測制御事業

（百万円）

	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期
オセアニア	9,522	9,422	9,154	10,642
欧州	4,422	9,544	8,938	11,339
アジア	6,713	8,753	4,882	6,041
中東・他	3,295	8,770	3,703	1,071
合計	23,952	36,490	26,678	29,095

※管理会計上の参考値

# 事業ポートフォリオ管理の強化

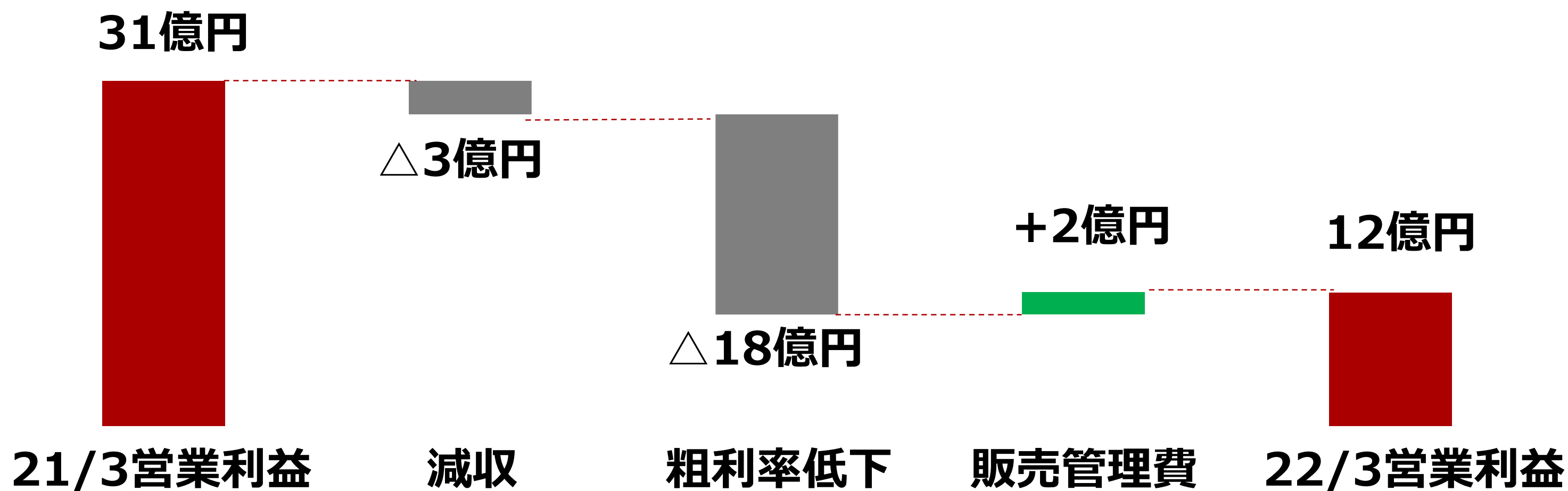
## ■ 国内計測制御事業：製品・サービス別にポートフォリオ管理

事業ポートフォリオ区分	位置付け・方針
スマートメーター事業	国内の中核事業で、安定的な収益貢献を目指す
ソリューション事業	スマートメーター事業の強みを活かし、省エネや脱炭素化などの社会的課題に対するソリューションを提供し、国内全体の収益性向上への貢献を目指す
配電盤事業	安定需要に対応し、継続的な収益貢献を維持する

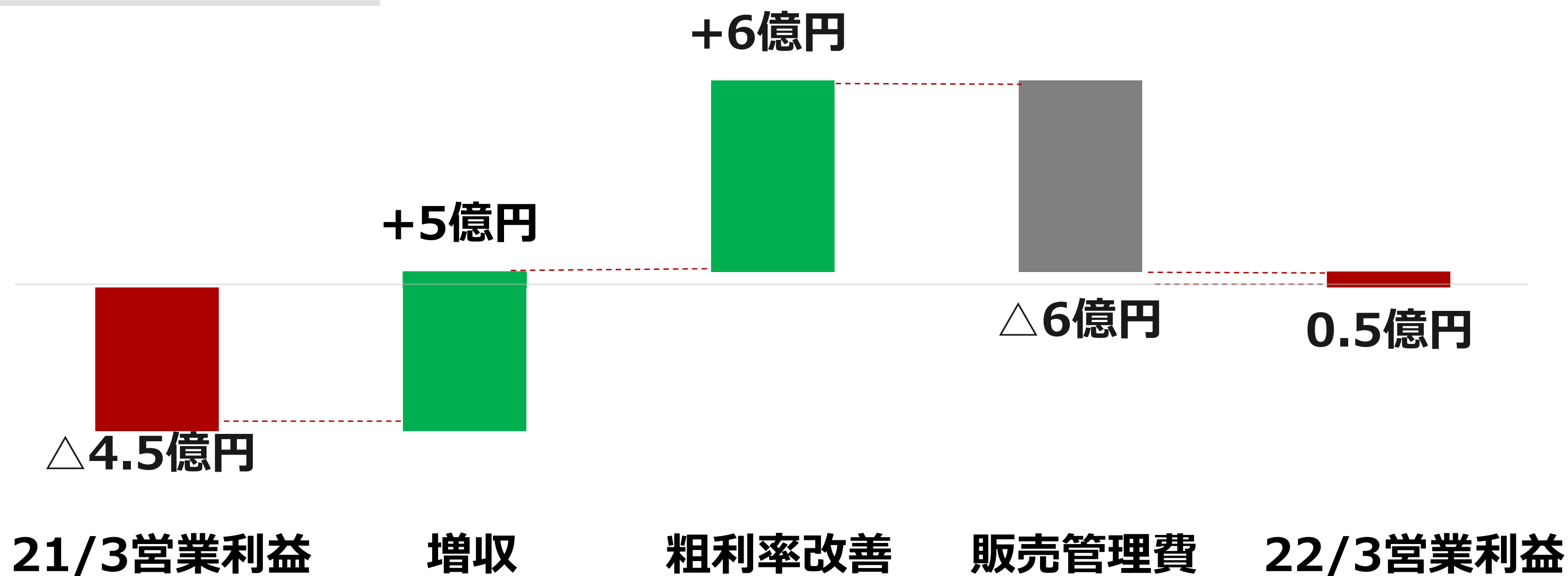
## ■ 海外計測制御事業：地域別にポートフォリオ管理

事業ポートフォリオ区分	位置付け・方針
オセアニア	スマートメーターと上位系システムを組み合わせたソリューション販売の強化により、安定的な利益成長を目指す
欧州	英国における収益性向上を目指す（製品構成、原価低減）
アジア	選択と集中による収益性向上（利益率の高いソリューション、産業用メーターの販売強化）
中東・その他	

## 国内計測制御事業



## 海外計測制御事業



- パートナーとの共創の場として、イノベーションラボ（五反田）に加え、埼玉事業所ショールームをリニューアルし、意見交換や共同開発の情報掲載ができるスペースを提供。



NEXT 100 teX Lab  
(ネクストヒャクテックスラボ)



埼玉事業所 ショールーム

## 電力量計の規格

### ANSI規格

ソケットタイプ（計量部と配線部  
をコンセントで接続）  
⇒北米、台湾、フィリピン等



### IEC規格

ボトムタイプ（計器の下部で配線接続）  
⇒世界の約80%が使用



## OSAKI・EDMIの商圏



## Environment

事業プロセスにおける環境への配慮

環境課題  
の解決

CO<sub>2</sub> 排出削減に寄与する  
製品・サービスの提供

スマートメーターに加えて、省エネ、効率的なエネルギー活用、使用状況の見える化を実現する製品・サービスを国内外で提供

自らの環境  
負荷を低減

資源循環の促進

環境調和型製品の製造  
廃棄物の削減・再資源化率向上  
有害化学物質の削減

## Social

事業を通じた社会的課題の解決

計測・制御  
技術

測る・つなげる技術で安心・  
安全と新たな価値を提供

ビル、街、店舗、マンション、家屋など幅広いシーンで快適で安心・安全な環境づくりに取り組み、AI・IoTを活用した新しい価値を創造

多様性

人財のダイバーシティと  
様々な人々との共働

国・業種・組織の枠を超えて様々な人々がつながり共働して、新しい価値の創造に挑戦

EとSを推進するガバナンス

価値創造とリスク最小化に取り組む

## Governance

経営

取締役会の実効性

ガバナンスの要である取締役会の実効性評価を毎年実施  
➔ 継続的な改善で実効性を高める

監督機能

指名・報酬諮問委員会  
執行役員制度

2019年2月に指名・報酬諮問委員会を設置。  
委員長は社外取締役。構成メンバーの過半は社外役員  
➔ 公正性・客観性・透明性を確保  
2020年6月に執行役員制度導入  
2022年6月28日の株主総会后  
➔ 社外取締役比率：1/3（予定）

## 配当方針

- 安定的な配当を前提として、業績に応じた成果配分を行う
- DOE（株主資本配当率）2%と配当性向30%のいずれか高い額を目安に決定

		19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期計画
1株当たり配当金	中間/期末	10円 / 10円	10円 / 10円	10円 / 10円	10円 / 10円	10円 / 10円
	年間	20円	20円	20円	20円	20円
配当金総額	年間	978百万円	978百万円	980百万円	974百万円	
連結配当性向	年間	54.1%	81.7%	203.3%	—	62.6%
DOE	年間	2.2%	2.2%	2.2%	2.3%	2.3%

## 自己株式の取得に関する方針

- 資本効率向上を重視し、手持ちキャッシュ、運転資金、直近の業績や株価、投資案件の有無等を総合的に勘案して継続的に検討

**大崎電気工業株式会社**  
**東証プライム：6644**

**<お問い合わせ先>**

**IR広報部**

**Tel: 03-6694-7140**

**[ir@osaki.co.jp](mailto:ir@osaki.co.jp)**

- 本資料は監査を受けていない参考数値を含んでいます。
- 本資料に記載の将来の予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
- 本資料の複製、内容の転載はご遠慮ください。